

★通常国会開幕から2週間余。安倍晋三首相は、高飛車な答弁を繰り返してしまっています。目に余るのは、憲法を軽視する態度です。政権の暴走は国家権力を縛る立憲主義の考え方を過去の思想のように扱い、改憲姿勢をむき出しにしています。法政大学大原社会問題研究所の五十嵐仁教授は、おこり、高ぶりが露呈してきたと強調。

赤旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代180
Tel 33-6118

【日本共産党砺波市委員会が市長に要望】

国民健康保険改悪に反対を

厚労省が国保運営を
都道府県に移す制度改
悪について協議をはじ
めるなどの動きのなか、
日本共産党砺波市委員
会は十二日、市長に要望
を提出しました。

★国民健康保険税の減
免制度の積極的な活用
を図るとともに、資格証
明書や短期保険証は発
行しないこと。また、国
に負担の増額を求め、併
せて一般会計からの繰
入金を活用することで、
国保税額を引き下げる
こと。国保の都道府県移
管に反対の姿勢を明ら
かにすること。
市町村国保は雇用破

壊などで加入者の貧困
が進んでいるにもかか
わらず、国庫負担が大幅
に減らされ、高すぎる国
保税の取り立てなどが
問題になっています。

厚生労働省は一月三
十一日、国民健康保険の
運営を市町村から都道
府県に移す制度改悪に
ついて、全国知事会など
地方三団体との協議会
を開始、七月をめどに中
間報告をまとめ、来年の
通常国会に関連法案を
提出することを狙って
います。
国保の都道府県移管
は、市町村による一般会
計からの繰り入れをな

国民健康保険は「社会保障」である

「国保は相互扶助」と、単なる助け合いの保険
であるように言われます。
確かに戦前(1938年)制定された国民健康
保険法の第1条には「国民健康保険は相互共済
の精神に則り疾病、負傷、分娩又は死亡に関し
保険給付を為すを目的とする」とあります。
しかし戦後の民主化と、日本国憲法の誕生の
のち、国保法は幾度かの改正が行われ、国の
国民皆保険計画により1958年に国保法が全面改
正されます。
改正後、第1条は「この法律は、国民健康保
険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障
及び国民保健の向上に寄与することを目的と
する」と変更され、「相互共済」の文言はなくな
り、「社会保障」という言葉が盛り込まれまし
た。つまり国保が「相互扶助の制度」から「社
会保障制度」へと進化したということです。
このことをふまえる必要があります。

くし、保険税(料)値上
げや医療費削減、収納強
化をはかるものであり、
認めるわけにいかない
と考えます。

○ ○ ○

あわせて、子ども医療
費助成の拡充について
も重ねて要望しました。

(高岡市も十月から中
学三年生まで入院も通
院も無料とする予定な
ど、県内でも中三までの
助成が広がっています)

★子ども医療費助成に

ついで、入院医療費だけ
でなく通院医療費も中
学三年生まで完全無料
にすること。市で取り組
むとともに、国や県に制
度の拡充を求めよう。

医療費助成は子育て
支援施策として市民か
らの要望もつよいもの
であり、県内においても
義務教育期間である中
学三年生まで対象を拡
充する動きがすすんで
います。早急に実施され
るべきと考えます。

赤旗日曜版を読んで

(二月九日号)

トランプ愛国心(33面)

政府・官公庁・電力会社の
広報や広告の数々を集めた
早川タダノリ氏の「原発ユ
ートピア日本」という本を
手にしたばかりのときに、
ちようど氏の記事▼原発の
ものも、「愛国心」をおおる
ものも、いま見ればとんで
もないものが多数。でも、
こうしたものが当たり前に
思われてしまう、国民の意
識に刷り込まれてしまうこ
との怖さ：▼そういえば最
近「戦車道」とかいって少
女が戦車に乗ってたか
うアニメがあったかと思え
ば、戦闘機、さらには戦艦
を少女キャラクターにした
ゲームが流行っているよう
です。本屋さんでは戦争
映画や戦闘機、自衛隊の兵
器のコレクション本などが
目につきます▼おかしな歴
史観をもち、学校教育にま
で手を出そうとする安倍首
相のもとで、なにかが着々
とすすんでいる：というの
は、私の考えすぎなのでしょう
うか？ (五十代 男性)

★自民、公明両党が強行成立させた秘密保護法は、ミスや予期しないトラブルでの過失による情報漏えいまでも処罰対象。これに対して法務省が法案検討時に「慎重に検討する必要がある」と処罰対象が際限なく広がることに、懸念を表明していたことが10日、しんぶん赤旗が情報公開で入手した資料で判明。

【ただのつぎやき】

8日 農事座談会
「ニーズがあるのでTPPに強い！」海藻アルギツ 産者募集のチラシが入っていました。TPPはそ

トにら、「TPPでも売れない」海藻アルギツ 米：資料のなかに新規生

ういうレベルの話ではないのでは…。

【続きんごの日記】

11日 成和会という庄下地区の壮年男性の組織があります
毎年二月のこの日に総会を開き、当年還暦の人達を送り出しているのです

もつとも二〇歳の幅がある会なので「あまりに古い歌でわからなかったわ」という方も居られました。伊達に還暦ではない、と改めて自覚させられたらしいです。

9日 富山県党会議
委員長に上田俊彦氏(60)新、副委員長に火爪弘子氏(58)再、書記長に高橋渡氏(51)新が就きました。

10日 全日本年金者組合 砺波支部旗びらき
連帯のあいさつをさせていただきます。

11日 宮町町内会総会
三月の江澄いの日に恒例の消火訓練。交差点改良で位置が変わった消火栓を使います。

12日 市長に要望 (一面参照)

農業シンポの案内
JAとなみ野などに上記シンポジウムのご案内にまわりました。

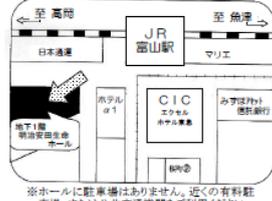
(何でもお気軽にご連絡) 相談ください・多田携帯 090-33369-8216

国の「農政改革」と富山の農業について考える

どなたでも参加できます 入場無料

【とき】 2月22日(土) 1時半~4時

【ところ】 明治安田生命ビル 地下ホール (富山駅南口徒歩3分)



【パネリスト】
穴田 甚朗 氏 (前富山県中央会 会長)
久保 博 氏 (前富山県議会 副議長)
吉川 利明 氏 (農林事務所 次長)
紙 智子 氏 (農林事務所 課長)

安倍内閣の「農政改革」のねらいは、TPP参加を前提に、コメの「交付金」の半減・廃止、減反の廃止など地域農業を根底から破壊するとんでもないものです。一緒に考えましょう。多くの県民のみなさんの参加をお待ちします。



主催：日本共産党富山県委員会 富山市荒川2丁目24-12 電話 076-432-8383

当時の生活の色や香りが頭の中にいっぱい広がって不思議な感覚に襲われました。懐かしくて涙を抑えられなかった同期の退会者もいたようです。

総会終了後の慰労会では、この大きくなる一方の団体を、単一の組織では無くさらに年齢で輪切りにして分割したほうが、多くの人が集まっているんな取り組みをしやすいのではないかと、などといった話も展開されていました。元気が活動できる年齢の幅が広がった証なのかなとも思います。